

## 岐阜県立土岐商業高等学校

学 校 長 白 井 孝 昭

学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1 電話0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校評議員の会（第2回）

2 会議の構成（敬称略）

委員	大 竹 章 文	本校育友会役員
	籠 橋 恭 子	土岐地区更生保護女性会理事
	河 野 公 洋	岐阜聖徳学園大学経済情報学部准教授
	永 田 五 一	土岐口財産区議長

学校側	校 長	白 井 孝 昭
	教 頭	中 嶋 伸 吾
	事 務 長	長 尾 健 児
	教 務 主 任	林 勇 二
	生徒指導主事	原 直 子
	進路指導主事	高 田 昌 史
	教務部広報	前 田 卓 也
	(記録)	伊 藤 唯

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 平成 2 5 年 2 月 1 8 日(月) 13:30~15:00

場 所 土岐商業高等学校校長室

出席者 委員 4 名 学校側 8 名 計 1 2 名が参加

\*学校長の挨拶・自己紹介・5限目の授業参観を実施後、会議を行った。

5 会議の概要

テーマ（1）本校の教育について（本年度の成果と課題）

各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部、商業部）より本年度の成果と課題についての説明を行った。その主な内容は下記のとおりである。

## ① 教務部

### (ア) 基本的・基礎的な学力の定着

- ① 生徒の実態に合わせ、課題提出の期限を変更し、提出を徹底した。また、教科によってテストを何度か行い、学習の基礎・基本の定着を図った。
- ② 学校支援課訪問があり、言語活動について見直しを行った。授業での発問や、部活動でのミーティングにおいて、生徒の活動を自主的に促せるように、動きのある活動を行うようにしている。

### (イ) 特色ある学校・学科作りの推進

- ① 商業経済検定試験において1級合格者、英語検定において2級合格者の数が増えた。しかし、本校が目標にしている全商検定試験3種目以上の取得者がピーク時に比べると減った。突出してできる生徒もいるが、全体を通してみると、資格取得者の数が減っている。来年度の課題となった。

### (ウ) 積極的な広報活動の推進

- ① ホームページの更新や、校内における新聞記事の掲示など、校内・校外への情報発信を迅速に行った。
- ② 高校説明会では、19校を訪問した。学校長が半分以上訪問し、説明を15分～20分程度行った。
- ③ 中学生1日体験入学では、部活動の紹介において、幅広く紹介が欲しいと指摘があった。部活動見学の時間を設けていないため、来年度は部活動紹介の充実を図りたい。
- ④ 岐阜県ふるさと教育週間を11月2日に行った。参加者数は10名で、中学生のテスト期間と重なっており、来年度は時期の設定が課題となった。
- ⑤ 中学生保護者訪問では、400人程度の保護者が本校を訪問した。

### (エ) 広報より（新聞記事で見る土岐商）

- ① ウェイトリフティング部や弓道部が全国大会に出場するなど、快挙を遂げた。
- ② 税の作文において、生徒が表彰を受けた。また、本校も租税教育推進で国税庁長官表彰を受けた。
- ③ 陸上部は駅伝で男女ともに2位を獲得。2年生中心メンバーのため、来年度はさらに期待が高まっている。
- ④ 図書館だよりが県教育委員会賞（2位）を受賞。文化部も活躍した。

## ② 生徒指導

「自ら正す」を目標とし、指導を心がけてきた。

### (ア) 交通事故の現状について

- ① 自転車での通学が多く、近隣の方からの注意もあり、登校坂下の停止線までの下校指導を昨年11月より始めた。

### (イ) 不注意による遅刻について

- ① 不注意による遅刻が昨年に比べ、100件以上増えている。3年生の就職後の不注意が多くなったものと、インフルエンザや雪なども影響している。来年度は、健康管理を含め、日常生活に留意することを徹底していきたい。

### (ウ) 自転車・現金の盗難について

- ① 現金の盗難はなし。自転車については、駅の自転車置き場に監視カメラが設置されたため、減少した。

### (エ) 問題行動の現状について

- ① 刑法に触れる問題行動はない。授業や全体の話の中で、様々な注意を促して

いるが、自分のこととして聞く意識が低い。個別への指導があまり無い分、日々の指導の中で、更なる対策が必要である。

(オ) 身だしなみについて

- ① 一部の決まった生徒が再指導を受けていることが多い。しかし、注意をするとすぐに直すことができるため、大きな問題にはなっていない。

(カ) 教育相談の現状について

- ① 7月に部活動を中心に迷惑調査を行った。いじめとして挙がってきたものはなし。しかし、見えないところでいじめはあるものとして、今後も警戒していきたい。
- ② 部活動においては、学習との両立をしていかなければならないので、部活動の重要性を確かめながら指導をしていきたい。

(キ) MSリーダーズの活動紹介

- ① 自転車の盗難防止キャンペーンを行った。夏は陸上部、秋は野球部が活動に参加した。

(ク) 部活動の成果について

- ① 運動系・文化系ともに成果をあげている。ほとんどの部活が、県で3位以上の成績をあげている。

③ 進路指導部

(ア) 平成24年度の進路状況について（就職）

- ① 公務員を含む就職希望者は、男子30名、女子63名の計93名が内定を頂くことができた。未定のもが3人いるが、ほぼ目処が立っている。
- ② 女子は事務職の希望者が多く、求人数が少ない中、内定も頂いている。
- ③ 公務員合格者は1名となった。

(イ) 平成24年度の進路状況について（進学）

- ① 国公立大学では2名が合格。富山大学と名古屋市立大学に1名ずつ合格した。
- ② 岐阜県商業高等学校校長会推薦で、南山大学へ1名が進学する。
- ③ スポーツ特技推薦での進学が8名、一般公募推薦からもクラブ希望者がいる。

(ウ) 平成24年度の進路状況について（就職）

- ① 求人数は約60社増加した。
- ② 地元就職者が55名に対して、県外就職者が37名だった。
- ③ 男子の進学者数が少なかったため、四年制大学への進学者が減った。一方で、女子の専門学校への進学が増加した。

(エ) まとめと次年度の課題

- ① 生徒の希望に沿う求人を頂けるように、求人確保をする。
- ② 就職試験では否採用者が25名となった。面接など、就職試験対策に力を入れていきたい。
- ③ 公務員希望者では、補習などの取り組みが若干弱かった。補習内容の見直しと充実を図っていきたい。
- ④ 進学希望者には、コース選択のときなどで資格取得の必要性を伝えていきたい。
- ⑤ 一般公募推薦では、多くの生徒がAOと指定校推薦であった。書く力・読む力・自己表現する力を養って、AOに頼らない受験を促していきたい。
- ⑥ 看護希望者は、準看護に切り替えて受けるものもいる。数学・英語・国語の力を伸ばし、高等専門学校に合格できるように早めの対策をしていきたい。

④ 商業部より（土岐商ショップ、とっきいの里活動報告）

（ア）実店舗「土岐商ショップ」の活動について

- ① 天候に恵まれず、売り上げが伸びないときでも、やりきることができた。また、販売の厳しさを学ぶいい機会となった。
- ② 商品開発では、「とっきいキャンディ（パインマンゴー）」「とっきい羽サブレ」「とっきいロール（抹茶・クリームオレオ）」を本年度開発し、販売することができた。

（イ）「とっきいの里」の活動について

- ① 外部講師の方に様々な指導をしていただく中で活動ができた。
- ② 県内の商業高校とコラボ商品を開発した。本校が販売した「バナナチョコチップス」ベーグルは、販売数1位を獲得することができた。

テーマ（2） 意見交換・質疑応答
------------------

意見1 県下でこれだけ評判のよい学校は珍しい。素晴らしいです。

意見2 南陵祭のときに訪問したが、楽しかった。同じボランティアの方も一緒に来て、一生懸命練習をしたというのがよくわかった。

意見3 登校坂を実際に歩いてみると、野球部の大きな声が聞こえてきた。大きな掛け声とともにキビキビと活動をして、しっかりしていると感じた。

意見4 授業を見学したが、生徒の元気がないように感じた。

返答4 教師から一方的に話しかける授業形態は多い。工夫をしていかなければいけないと考えている。一方で、調べ学習やグループワークなど、動きのある活動もしている。社会科では、図書室と連携して、総選挙についての調べ学習をし、テーマについて意見文を書くという活動を行った。発表する機会を設けられると良いのだが試験もあるため、動きのある活動にあまり時間を割けないという状況もある。

意見5 生徒とすれ違うと、あいさつをされるが、そのあいさつがもっと元気よくできると、就職の面接などに繋がるのではないかと。模擬面接の面接官をしている友人からは、生徒は大人しくて元気がないという話も聞くので、引き続き元気なあいさつの指導をお願いしたい。

返答5 模擬面接をして頂くときには、面接に臨む仕上げの段階を見て頂いた方が良いという反省が、職員間で出ている。個別に指導をお願いし、練習をしている生徒はやはり面接に強いので、早めの指導に力を入れていきたいと考えている。また、本校の生徒は、大人しく、自分に自信のない生徒が多いので、直球には強いが、変化球を投げられると弱い傾向がある。変化球を投げられても対応できるような自信を持たせ、自己開示ができるように指導していきたいと考えている。

意見5 体罰問題が話題となっているが、在学中、それから卒業をした娘に話を聞いたところ、体罰は見たことも聞いたこともされたこともない、と言っていた。保護者としては、けじめのある厳しい指導をお願いしたいと考えている。

質問1 少子化対策はどうなっているのか。

返答1 来年度からは1クラス減ることになっている。しばらくは、5クラスを維持できると考えている。部活動の数を増やして欲しいという意見もあるが、それは物理的に難しい。

質問2 体罰問題については、どのような対策をとっているか。

返答2 学校アンケートを実施した。私書箱も設置をしている。

質問3 自転車置き場は、置き場所が決まっているのか。

返答3 学年ごとに自転車置き場があり、クラスごとで停める場所が決まっている。

質問4 雨の日は、普段自転車で登下校する生徒はどうしているのか。

返答4 バスや、送り迎えに変更して登下校する生徒が多い。

質問5 登校坂にある防犯カメラはどのような目的で設置されているのか。

返答5 不法侵入や、防犯対策、生徒たちの監視目的で設置している。本校には6台ほど防犯カメラが設置してあり、生徒指導室で見ることができる。

## 6 会議のまとめ

評議員の方々には、寒い中長時間にわたり授業を観ていただきありがとうございました。ひたむきに取り組む生徒に対して、助言や励ましの言葉をいただきました。

また、質疑応答や交換意見では、生徒が挨拶運動や部活動など、生き生きと学校生活を送っていることについて「益々土岐商のファンになりました」との身に余るご意見や、進路について地元採用の機会をつくりたいとの頼もしい言葉をいただきました。

地域や保護者の方々などからの暖かいご支援に感謝し、その期待やご意見に対して真摯な気持ちで精進し、今に安閑とすることなく全職員が前向きな姿勢を持ち続けたいと考えます。

さらに、生徒一人ひとりを大切に考え、いじめや体罰のない「風通しのよい」環境づくりに邁進したいと考えています。ありがとうございました。